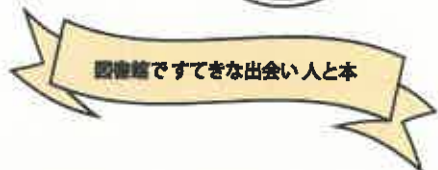


2023年5月

高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



発見! 高松の 銅像

中央公園 PART1

讃岐漆芸の祖と言われている玉楮象谷（1806～1869）。江戸後期に活躍し、多くの名品を生み出しました。象谷の銅像は、高松市中央公園の南側に位置する場所に設置されています。静かな佇まいではありますが、手元などは今にも動き出しそうです。作者は彫刻家の新田藤太郎（1888～1980）で、昭和33年に制作されました。

「玉楮象谷坐像」



今にも動きそうな手



象谷は明治2年（1869）に逝去され、写真や肖像画などは残されていません。手がかりとしては、象谷を大伯父にもつ彫刻家藤川勇造（1883～1935）が作ったとされる、小さな銅像がありました。この像からイメージをつかんだ藤太郎は、さらに詳しく知るために、親類縁者を訪ね歩きます。象谷の人となりも聞き、その内面がにじみ出るようにと制作された像は、象谷を知る人たちからも「よくできている」と絶賛されたそうです。(M)



『玉楮象谷伝 自在に生きた香川漆芸の祖』香川県/監修 住谷晃一郎/編・執筆 T7522/タマ 2016年
『香川の漆芸』香川県漆器協同組合/編・出版 T7520/カカ 1979年

***中央図書館 5月の休館日のお知らせ* 1日、4日、8日、15日、22日、29日、31日**

5・6月の展示

「名所をまわろう」

期間：5月5日(金・祝)～6月29日(木)

場所：2階 展示コーナー

コロナ禍で行けなかったあの場所、意外と知らない穴場スポットなど、マスクを気にせず出かけませんか？県内から海外まで、各地の名所を紹介します。久しぶりの遠出や旅行など、ぜひおでかけの参考にしてください。



高松市歴史資料館 関連展示

収蔵品展「高松と寛政異学の禁 中山城山（じょうざん）が生きた時代」

期間：開催中～5月30日(火)

場所：2階 中央カウンター横

中央図書館の蔵書から、展示参考図書・関連図書を紹介します。

行事予定

春の子ども読書週間 関連イベント

つくってあそぼう！ーいろいろうさぎー

ぴよんぴよん跳ねるうさぎや食いしん坊なうさぎ、いろんなうさぎをつくってあそぼう！

日時：5月5日(金・祝)午前11時～正午

場所：1階児童コーナー

対象：幼児～小学生

定員：先着20人

さわってみよう！ーさわる『絵本』

視覚障がいをもつ子どもたちなど、幅広い方が絵本をより楽しめるよう、布などの様々な素材で作られた絵本を展示します。

※この展示は、“障がい”に関係なく本を楽しみ、本に親しんでもらい、より多くの方に図書館を利用いただくため、利用者の皆様に図書館の障がい者サービスを紹介することを目的としています。

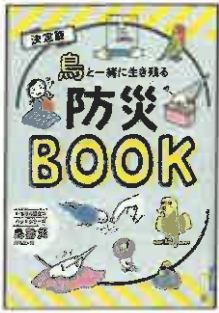
期間：開催中～5月12日(金)

場所：1階児童コーナー



今月のおすすめ本

5/10~5/16 は愛鳥週間です。今月は鳥にまつわる本を紹介します。



『鳥と一緒に生き残る防災 BOOK 決定版』

鳥防災編集部 / 編 日東書院 2023年 / 発行 6468 / トリ

近年、発生する可能性が高まってきている南海トラフ大地震。人の避難準備はできていてもペットの鳥にまで手が回っていない人もいないのでしょうか。自宅での被災か、外出先での被災かなど、あらゆるケースでの準備をわかりやすく教えてくれます。いざという時に愛鳥を守るために、今からできることをはじめてみませんか。



『かぎ針編み刺しゅう糸で編むミニチュア鳥図鑑』

アップルミンツ / 発行 日本ヴォーグ社 / 発売 2022年 / 発行 5943 / カキ

かぎ針編みで鳥を作ってみませんか？身近なスズメから世界最小のマメハチドリや世界最大のダチョウまで、20種類の鳥の編み方が紹介されています。刺しゅう糸の豊富なカラーバリエーションを活かして細部まで再現されているので、タイトルのとおり図鑑としても楽しめる1冊です。



『漢字の動物苑 鳥・虫・けものと季節のうつろい』

円満 字二郎 / 著 岩波書店 2023年 / 発行 8112 / エン

漢字のはじまりは世界の多くの古代文字と同様に絵文字と言われており、その中に「馬」「鳥」「牛」のように動物を表すものが少なからず含まれます。そんな動物にまつわる漢字の話を、季節の移り変わりにしたがって紹介しています。「人のことばをしゃべるニワトリ」「ウグイスの色はどんな色？」など、短い文章でテーマごとに分かれており、読みやすい1冊です。

ビジネス支援コーナーが

1階に移動しました！

中央図書館では新着資料の中からビジネスに活用できる本を、ビジネス支援としてコーナーを設置しています。これまでは2階インターネットコーナー近くに置いていましたが、4月から1階中央カウンター正面に移動しました。新着資料とあわせてビジネス支援コーナーも、ぜひご利用ください。





中央図書館5月行事予定



・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 ●ゆりかご おはなし会 10:30~	4	5 ★つくってあそぼう! いろいろうさぎ 11:00~	6 ●なかよしかみしばい 14:00~
7	8	9	10	11	12	13 ●おはなしのかけはし 14:00~
14	15	16 ●えいごの おはなし会 11:00~	17	18 ●わらべうたで あそぼう 10:30~	19	20 ●コットンツリーのへや 10:30~ ●本さんこんには 14:00~
21	22	23 ●にこにこ おはなしひろば 11:00~	24	25	26	27 ●伝々虫のおはなし会 10:00~
28 ●かずさんの おはなし会 14:00~	29	30	31	イベント等は開催を中止・延期する場合があります。 開催予定は、ホームページや館内掲示でご確認ください。		

音楽の小部屋

『ブロックウェル・ミックステープ』

エドブラック 22/エト

ここ数年、音楽ストーリーミングサービスで注目されるミュージシャンの一人が edbl です。イギリス、サウスロンドンで活動するクリエイター、エド・ブラックウェルの個人プロジェクトで、彼がプロデュース、トラックメイク、ギターなどをこなし、シンガーやラッパーをゲストに迎えたコラボ作品をリリースしています。

サウスロンドンといえば今やイギリス屈指の音楽の街、というイメージです。これはトム・ミッシュやジェイミー・アイザック、ジョーダン・ラカイといったミュージシャンが活動していることが大きいと思いますが、この edbl もその一角を担う逸材だと思えます。

このアルバムの魅力は何と言っても心地よいビート。ネオソウルとローファイヒップホップのエッセンスが散りばめられています。ジャズファンクやディスコ、90年代のR&Bといった日本人好みのアプローチも感じられるトラックメイクも素晴らしく、様々なテイストの歌声にわくわくするゲストヴォーカルにはUKソウルの新鋭が集まっています。

ギタリストの磯貝一樹とコラボアルバムを作ったり、山本彩など日本人シンガーのリミックスをしたりと、最近日本でも注目されてきたエドブラック。ぜひ一度聴いてみてほしい作品です。(M)

※このコーナーでは、毎月一枚、音楽好きの図書館員より個人的おすすめCDを紹介していきます。

視聴覚教材 2層 AV コーナー

特集

「今年に行きたい! 観たい! 癒されたい!」

(DVD)

『日本のまつり 四国編』D84/ニホ

『パワースポット ヒーリング』D85/ハワ

『栄華を極めた名城 Vol.1 姫路城』D85/エイ

『歌舞伎名作撰 恋飛脚大和往来 封印切』

D72/コイ



<ピックアップ作品>

(DVD) 『日本の空港映像図鑑』 D69/ニホ
日本国内の主要15空港を映像と音で楽しむDVDです。ナレーション解説をオンにすると各空港について詳しく知ることができ、オフにするとライブサウンドと音楽による環境映像・BGV(バックグラウンドビデオ)にもなります。飛行機の離着陸シーン以外にも貴重なシーンやオススビューポイントの紹介もあり、自宅で空港を愉しめる一枚です。